

リアルタイム遠隔超音波検査システムの構築



佐藤 和奏

助教 博士（医学）

Wakana Sato

大学院医学系研究科 医学専攻 機能展開医学系
循環器内科学講座

研究キーワード

遠隔診療、超音波検査、リアルタイム

研究概要

全国規模で都市部とへき地間で専門医療の充足度に大きな偏りがある。広大な面積を持ち、超高齢県の秋田県では、全国よりも深刻な地域医療問題を抱えている。

循環器疾患において、超音波検査は診断・病態把握のために非常に有用であるが、超音波専門医不在の地域も多い。秋田県では超音波専門医が秋田市に集中しており、図のごとく秋田市から僻地までの距離は優に100kmを超え、僻地での医療崩壊が現実化に深刻化している。

そこで、秋田県内各地と秋田大学間のリアルタイム遠隔超音波検査システムを構築し、その実用化が循環器疾患の診断能力向上、さらには秋田県の健康寿命の延伸につながることを目指す。



予想される応用例

- 地域の中核病院のみならず、開業医や往診医療へも対応
- 健診への応用

産業界へのアピールポイント

今後心不全患者は増え続けることが予想され、需要が見込まれる分野である。